

平成28年 8月10日
四国電力株式会社

伊方発電所における通報連絡事象（平成28年7月分）および 通報連絡事象に係る報告書の提出について

- 平成28年7月に、当社から愛媛県ほか関係自治体に通報連絡した事象は以下の1件です。本事象は、法律に基づく報告事象に該当するものではなく、また、環境への放射能の影響もありませんでした。
- 本事象については、その後の調査結果を踏まえた原因と対策をとりまとめ、愛媛県ほか関係自治体に報告書を提出いたしました。

事 象	発生日	発表日	県の公表区分
1. 伊方発電所3号機1次冷却材ポンプ3Bの第3シールのリークオフ流量増加について	7月17日	7月17日	B

県の公表区分 A：即公表
B：48時間以内に公表
C：翌月10日に公表

(別紙) 伊方発電所における通報連絡事象および報告書概要（平成28年7月分）

以 上

伊方発電所における通報連絡事象および報告書概要

1. 伊方発電所3号機1次冷却材ポンプ3Bの第3シールのリークオフ流量増加について

○事象

定期検査中の伊方発電所3号機において、1次冷却材ポンプの調整運転中に、1次冷却材ポンプ3Bの第3シールリークオフ^{※1}流量が増加する事象が認められたことから、第3シールのシート状態を改善するための調整作業を行ないましたが、運転状態を改善することができなかつたため、7月17日9時20分、当該シールを予備品と取り替えることとしました。

その後、当該シールを取り替え、1次冷却材ポンプを運転し、8月1日8時30分、運転状態が良好であることを確認しました。

○原因

点検の結果、第3シールのシールリングが僅かに傾き、動きが滑らかでないことを確認しました。

これは、7月12日に実施した原子炉格納容器の耐圧検査時に、第3シールに通常より高い圧力がかかったことにより、シール構成部品であるOリング^{※2}の噛み込み等が発生し、摩擦力が大きくなり、シールリングの動きが悪くなったため、1次冷却材ポンプ3B起動時に、シールリングが傾いた状態となり、シート面に隙間が生じ、シールリークオフ流量が増加したものと推定しました。

○対策

- ・1次冷却材ポンプ3Bの第2および第3シールを予備品と取り替えるとともに、同じ構造である3A、3Cのシールについても同様に取り替えました。^{※3}
- ・原子炉格納容器を加圧する検査においては、第3シールに外部から高い圧力がかからないように要領書の改定を行いました。

※1 第3シールリークオフ流量

1次冷却材ポンプの軸封部は、第1、第2、第3シールの3段で構成されており、1次冷却材の系統水は第2シールでシールされる。第3シールは、第2シール下流に供給しているシール部洗浄用の純水をシールするもので、第3シール出口から漏れ出る流量を第3シールリークオフ流量という。

なお、第3シールのリークオフ水は専用の配管を通じて原子炉格納容器内のタンクに回収される。

※2 Oリング：断面が円形の環型をしたゴム製のシール部品。

※3 第2シールと第3シールは一体型の組立品であるため、両方とも取り替える。

伊方発電所3号機 1次冷却材ポンプ シール部概略図

